



(注) 薬剤の吸着が認められる場合があるため、血清分離剤入りの容器の使用は避けください。

## 血中薬剤濃度

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	有効治療濃度	備考
8042	フェニトイン 3L185-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	1~3	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	トラフ値 10.0~20.0(成人・小児) 8.0~15.0(新生児) $\mu\text{g/mL}$	アレビアチン ヒダントール ジフェニルヒダントイン
8041	フェノバルビタール 3L175-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	1~3	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	トラフ値 10.0~40.0 $\mu\text{g/mL}$	フェノバル ワコビタール ルミナル
8046	プリミドン 3L190-0000-023-024	血清 0.3	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	EMIT	5~12 中毒濃度 >12 $\mu\text{g/mL}$	マイソリン プリムロン
8044	カルバマゼピン 3L115-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	1~3	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	トラフ値 4.0~12.0 ※他の抗てんかん薬 併用時は4.0~8.0 $\mu\text{g/mL}$	デグレートール、レキシン テレスミン、コダバン
8048	バルプロ酸 3L195-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	1~3	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	トラフ値 50.0~100.0 $\mu\text{g/mL}$	デバケン、ハイセレニン セボトボル、バレリン エビレナート
8047	エトスクシミド 3L135-0000-023-024	血清 0.4	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	次回投与直前(トラフ濃度) 40~100 中毒濃度 >150 $\mu\text{g/mL}$	ザロンチン、エメサイド エビレオブチマル
8049	クロナゼパム 3L125-0000-023-205	血清 0.5	1 (プレーン)	凍結	4~6	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	10~70 中毒濃度 >80 $\text{ng/mL}$	ランドセン リボトリール
8050	ニトラゼパム 3L165-0000-023-205	血清 0.3	1 (プレーン)	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	20.0~100.0 中毒濃度 >200 $\text{ng/mL}$	ネルボン、カルスミン、 チオラゼパム、ベンザリン ネルロレン
8051	ジアゼパム 3L130-0000-023-205	血清 0.5	1 (プレーン)	凍結	4~6	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	200~500 中毒濃度 >1000 $\text{ng/mL}$	セルシン、ホリゾン ソナコン、オイホリン
9114	アセタゾラミド 3L950-0000-023-204	血清 0.3	1 (プレーン)	冷蔵	5~10	特定薬剤 56ページ 参照	HPLC	$\mu\text{g/mL}$	ダイヤモンド、ドンモックス アセタモックス、アテネゾール
9341	スルチアム 3L200-0000-023-204	血清 1.2	1 (プレーン)	冷蔵	8~14	特定薬剤 56ページ 参照	HPLC	$\mu\text{g/mL}$	オスポロット
9176	トリメタジオン 3L205-0000-023-205	血清 0.5	1 (プレーン)	凍結	5~11	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	300~500 $\mu\text{g/mL}$	ミノアレビアチン
9333	ゾニサミド 3L210-0000-023-062	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	ラテックス凝集法	次回投与直前(トラフ濃度) 10~30 $\mu\text{g/mL}$	エクセグラン エクセミド
2734	ガバベンチン 3L215-0000-023-205 3L215-0000-022-205	血清 または ヘリン血漿 0.5	1(プレーン) 8	血清 または 血漿凍結	4~6	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	$\mu\text{g/mL}$	ガバベン錠
2523	クロバザム 3L145-0000-023-205	血清 0.5	1 (プレーン)	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	トラフ値 クロバザム 30~300 $\text{ng/mL}$ デスメチルクロバザム 300~3000 $\text{ng/mL}$	マイスタン
2855	トピラマート 3L225-0000-023-205	血清 0.3	1 (プレーン)	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	トラフ値 5.0~20.0 $\mu\text{g/mL}$	トピナ
8993	ラコサミド 3L248-0000-022-205	EDTA-2Na 血漿 0.3	7	血漿 凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	$\mu\text{g/mL}$	ビムバット
2839	ラモトリギン 3L220-0000-023-205	血清 0.3	1 (プレーン)	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	トラフ値 2.5~15.0 $\mu\text{g/mL}$	ラミクタール
2859	レベチラセタム 3L230-0000-023-205	血清 0.3	1 (プレーン)	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS	トラフ値 12.0~46.0 $\mu\text{g/mL}$	イーケプラ

抗てんかん薬



(注) 薬剤の吸着が認められる場合があるため、血清分離剤入りの容器の使用は避けてください。

## 血中薬剤濃度

	コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	有効治療濃度	備考	
抗 精 神 神 經 用 薬	9318	リチウム 3L320-0000-023-261	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	1~3	特定薬剤 56ページ 参照	イオン電極法	0.6~1.2 中毒濃度 >1.5 mEq/L	リーマス	
	9051	ハロペリドール 3L300-0000-023-064	血清 0.4	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	金コロイド凝集法	3.0~17.0 ng/mL	セレネース、ハロステン ハロマンズ、リントン	
	8043	プロムペリドール 3L302-0000-023-024	血清 0.4	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	至適 血中濃度 15以下 ng/mL	インプロメン ルナブロン	
循 環 器 用 薬	8053	ジゴキシ 3L765-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	1~3	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	0.8~2.0 中毒濃度 >2.0 ng/mL	ジゴシン	
	9334	プロカインアミド 3L890-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	治療有効濃度 4.00~8.00 中毒濃度 >12.00 μg/mL	アミサリン プロネスチール	
	9335	N-アセチルプロカインアミド 3L885-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	μg/mL	アミサリン	
	9137	ジソピラミド 3L865-0000-023-024	血清 0.4	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	中毒濃度 2~5 μg/mL	リスモダン、タイリンダー ノルベス、カフィール	
	9136	キニジン 3L900-0000-023-062	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	KIMS法	1.0~5.0 中毒濃度 >10 μg/mL	硫酸キニジン	
	9359	メキシレチン 3L880-0000-023-205	血清 0.5	1 (プレーン)	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	0.50~2.00 (不整脈患者) μg/mL	メキシチール	
	9366	アプリンジン 3L855-0000-023-205	血清 0.3	1 (プレーン)	冷蔵	4~6	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	0.25~1.25 μg/mL	アスペノン	
	2207	プロパフェノン 3L897-0000-022-205	ヘパリン 血漿 0.5	8	血漿 凍結	4~6	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	50~1500 ng/mL	プロノン	
	9123	リドカイン 3L875-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~8	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	1.5~5.0 中毒濃度 >9.0 μg/mL	キシロカイン、リドカイン オリベス	
	9485	プロプラノロール 3L895-0000-023-204	血清 0.3	1 (プレーン)	冷蔵	5~12		HPLC	次回投与直前(トラフ濃度) 50.0~100.0 ng/mL	インデラル	
	8045	シベンゾリン 3L898-0000-023-205 3L898-0000-022-205	血清 または ヘパリン血漿 0.5	1(プレーン) 8	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	トラフ値 70~250 ng/mL	シベノール	
	2357	ピルメノール 3L899-0000-022-205	ヘパリン 血漿 0.5	8	血漿 凍結	4~7	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	最小有効血漿中濃度は 0.40μg/mLと 推定されます。	ピメノール	
	9042	ピルシカイニド 3L896-0000-023-205	血清 0.5	1 (プレーン)	凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	0.20~0.90 μg/mL	サンリズム	
	2536	フレカイニド 3L905-0000-023-205 3L905-0000-022-205	血清 または ヘパリン血漿 0.5	1(プレーン) 8	凍結	4~6	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	200~1000 ng/mL	タンボコール	
	2458	アミオダロン 3L800-0000-022-205	ヘパリン 血漿 0.5	8	血漿 凍結	4~5	特定薬剤 56ページ 参照	LC-MS/MS	ng/mL	アンカロン	
	解 熱 剤	9121	サリチル酸 3M205-0000-023-272	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	酵素法	(抗炎症用時)治療有効濃度 150~300 中毒濃度 >300 μg/mL	アスピリン、イスキア ハフトロン、バファリン ヘパルス、サルソニン
		9336	アセトアミノフェン 3L005-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	185 生化I	EIA	中毒濃度 4時間後 200.0以上 8時間後 100.0以上 12時間後 50.0以上 μg/mL	ピリナジン、コカール カロナル、アニルメ

\*アセトアミノフェンは、同一の患者につき1月以内に2回以上行った場合、第1回の測定を行ったときに1回に限り算定する。

# 薬物検査

No. 1 No. 4 No. 6 No. 7



(注) 薬剤の吸着が認められる場合があるため、血清分離剤入りの容器の使用は避けください。

## 血中薬剤濃度

	コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	有効治療濃度	備考
抗 菌 薬	8055	アミカシン 3M601-0000-023-062	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	KIMS法	50.0~60.0 トラフ値 4.0未満 μg/mL	アミカマイシン、ピクリン ロミカシン、プルテツシン
	8056	ゲンタマイシン 3M606-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	EMIT	グラム陰性菌感染症に対する標準治療 15~20 トラフ値1未満 μg/mL	ゲンタシン、エルタミシン ゲミニマイシン
	9320	バンコマイシン 3M530-0000-023-062	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	LA	トラフ値10.0~15.0 μg/mL	塩酸バンコマイシン
	8057	トブラマイシン 3M602-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~5	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	ピーク値 15.0~20.0 トラフ値 1.0未満 μg/mL	トブラシン
	9250	テイコプラニン 3M532-0000-023-062	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~6	特定薬剤 56ページ 参照	ラテックス凝集 比濁法	トラフ値15~30 μg/mL	タゴシッド
	9274	アルベカシン 3M613-0000-023-062	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	ラテックス凝集 比濁法	ピーク値(点滴開始時間後) 15.0~20.0 トラフ値(投与前30分以内) 1.0~2.0未満 μg/mL	ハベカシン
免 疫 抑 制 剤	8097	タクロリムス 3M810-0000-019-053	EDTA-2Na 血液 1.0	7	血液 冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	ECLIA	5~20 ng/mL	プログラフ、グラセプター プロトピック
	9248	シクロスポリン 3M805-0000-019-051	EDTA-2Na 血液 0.5	7	血液 凍結	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	CLIA	ng/mL	サンディミュン、ネオラル
そ の 他	8058	テオフィリン 3M070-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	1~3	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	成人10~20 中毒濃度 >20 μg/mL	アミノフィリン、ネオフィリン キョーフィリン、テオドル スロービット
	4119	ヘパリン 3M415-0000-022-315	クエン酸Na 血漿 0.3	4	血漿 凍結	5~10	108 生化I	発色性合成 基質法	IU/mL	ヘパリンナトリウム
	9432	メトトレキサート 3M725-0000-023-024	血清 0.5	1 (プレーン)	冷蔵	3~4	特定薬剤 56ページ 参照	EIA	(中毒域)(大量投与時) 24時間後 10以上 48時間後 1以上 72時間後 0.1以上 μmol/L	メソトレキサート
	9313	金 3M305-0000-023-274	血清 0.3	1 (プレーン)	冷蔵	4~10		原子吸光 分光光度法	μg/dL	シオゾール
	2459	乱用薬物スクリーニング 3L970-0000-001-024	尿 8	6	冷蔵	4~5		(スクリーニング)EMIT (確認検査)LC-MS/MS	検出せず	検査内容は下表参照
	9646	覚醒剤スクリーニング 3L965-0000-001-024	尿 8	6	冷蔵	4~5		(スクリーニング)EMIT (確認検査)LC-MS/MS	検出せず	

※ヘパリンの血中濃度測定においては、同一の患者につき1月以内に当該検査を2回以上行った場合においては、算定は一回とし、1回目の測定を行ったときに算定する。

		覚醒剤 スクリーニング	乱用薬物 スクリーニング	
覚醒剤*1	アンフェタミン、メタンフェタミン(ヒロポン)	○	○	
麻薬	アヘンアルカロイド系麻薬*2	コデイン、モルヒネ	○	
		ジヒドロコデイン、6-アセチルモルヒネ		
	コカアルカロイド系麻薬*2	コカイン、ベンゾイルエコゴニン(コカイン代謝物)	○	
	幻覚剤*2	メチレンジオキシアンフェタミン(MDA)		○
		メチレンジオキシエチルアンフェタミン(MDEA)		
メチレンジオキシメタンフェタミン(MDMA)				
	フェンシクリジン(PCP)			
大麻・マリファナ	THCカルボン酸体*3		○	

\*1 「覚醒剤取締法」により規制を受けている薬物

\*2 「麻薬および向精神薬取締法」により規制を受けている薬物

\*3 11-ノル-Δ<sup>9</sup>-テトラヒドロカンナビノール-9-カルボン酸体(大麻成分代謝物)

## 特定薬剤治療管理料

薬剤名	検査項目	特定薬剤治療管理料 (同一患者月1回)		加算点数	備考	
		1~3ヶ月	4ヶ月以降			
抗てんかん剤	フェニバルピタール、フェニトイン、カルバマゼピン、プリミドン、エトスクシミド、バルプロ酸、アセタゾラミド、スルチアム、クロナゼパム、ニトラゼパム、ジアゼパム、ゾニサミド、クロバザム、トリメタジオン、ガバペンチン、トピラマート、ラコサミド、ラモトリギン、レベチラセタム			470点	280点 〔1回目の特定薬剤治療管理料を算定する月に限り加算〕	てんかん患者 ・てんかん患者であって、複数の抗てんかん剤の血中濃度を測定し、個々の薬剤投与量の管理を行った月においては、2回に限り所定点数を算定 ・てんかん重積状態(全身性けいれん発作重積状態)の患者に対して、抗てんかん剤の注射薬剤等の血中濃度を測定し、投与量の管理を行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り、重積状態が消失した日に特定薬剤治療管理料として740点を算定
	バルプロ酸 カルバマゼピン					躁うつ病、躁病の患者
ジギタリス製剤	ジゴキシン			235点	〔薬剤変更時は加算できない〕  心疾患患者 ・ジギタリス製剤の急速飽和を行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り急速飽和完了日に特定薬剤治療管理料として740点を算定(急速飽和とは、重症うつ心性心不全の患者に対して2日間程度のうちに数回にわたリジギタリス製剤を投与し、治療効果濃度にまで到達させること)	
不整脈用剤	N-アセチルプロカインアミド、プロカインアミド、ジソピラミド、フレカイニド、アブリンジン、リドカイン、ピルシカイニド、プロパフェノン、メキシレチン、ピルメノール、アミオダロン、キニジン、シベンプリリン、ソタロール、ペプリジル				不整脈の患者	
免疫抑制剤	シクロスポリン タクロリムス、エベロリムス ミコフェノール酸モフェチル			470点	2,740点 〔臓器移植実施月を含め3月に限り加算〕	臓器移植後(拒否反応の抑制目的) ミコフェノール酸モフェチルを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、同一暦月に複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その結果に基づき、個々の投与量を厳密に管理した場合は、6月に1回に限り250点を加算する。 エベロリムスを投与している臓器移植後の患者であって、2種類以上の免疫抑制剤を投与されているものについて、同一暦月に複数の免疫抑制剤の濃度を測定し、その結果に基づき、個々の投与量を厳密に管理した場合は、初回投与を行った日の属する月を含め3月に限り月1回、4月以降は4月に1回限り250点を加算する。
	シクロスポリン					ベーチェット病(活動性・難治性眼症状を有するもの)、その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る)、再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存治療で十分な効果が得られない患者に限る)、ネフローゼ症候群の患者
	タクロリムス					全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎又は間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋炎に合併するもの)患者
アミノ配糖体 抗生物質	アマカシン、ゲンタマイシン、アルベカシン、トブラマイシン			235点	280点 〔1回目の特定薬剤治療管理料を算定する月に限り加算〕  〔薬剤変更時は加算できない〕	数日間以上投与している入院中の患者
グリコペプチド系 抗生物質	バンコマイシン、テイコブラニン					同一暦月にバンコマイシンの濃度を複数回測定し、その測定結果に基づき、投与量を厳密に管理した場合は、1回に限り530点を所定点数に加算する。
トリアゾール系 抗真菌剤	ポリコナゾール					数日間以上投与している入院中の重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植(深在性真菌症の予防目的)の患者
テオフィリン製剤	テオフィリン				肺炎腫、喘息性(様)気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、未熟児無呼吸発作の患者	
メトトレキサート	メトトレキサート				悪性腫瘍の患者	
イマニチブ	メシル酸イマニチブ				CML等適応疾患	
サリチル酸系製剤	サリチル酸				若年性関節リウマチ、リウマチ熱 慢性関節リウマチ	
ハロペリドール製剤 ブロムペリドール製剤	ハロペリドール ブロムペリドール				統合失調症の患者	
リチウム製剤	リチウム				躁うつ病	
バルプロ酸	バルプロ酸				片頭痛の患者	
抗悪性腫瘍剤	エベロリムス				結節性硬化症に伴う上衣下巨細胞性星細胞腫の患者	
	シロリムス				リンパ脈管筋腫症の患者	
	スニチニブ				腎細胞癌の患者	

\*別の疾患に対して別の薬剤を投与した場合は、それぞれ算定できる。  
(例えば、てんかんに対する抗てんかん剤と気管支喘息に対するテオフィリン製剤の両方を投与する場合)  
\*同一疾患について同一の区分に該当しない薬剤を投与した場合は、それぞれ算定できる。  
(例えば、発作性上室性頻脈に対してジギタリス製剤及び不整脈用剤を投与した場合)